

平成29年度被表彰教職員組織名簿（国公私共通）

No.	設立主体	都道府県	学校種	チーム名	ふりがな	活動内容	実践分野
1	公立	北海道	小学校	登別市立幌別小学校教職員一同	ほるべつ	平成25年度から道教委の「学校力向上に関する総合実践事業」の実践指定校として、包括的な学校改善による人材育成に成果を上げている。	八
2	公立	北海道	義務教育学校	中標津町立計根別学園教職員一同	けねべつ	平成26年度から道教委の小中一貫教育に関する事業の指定校として、系統性を確保した教育課程の編成・実施等による学力向上に成果を上げている。	一
3	公立	北海道	中等教育学校	北海道登別明日中等教育学校教職員一同	のぼりべつあけび	平成26年度から文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール」の指定校として、海外との交流活動等を通じ、国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成等に成果を上げている。	七
4	公立	青森県	小学校	八戸市立小中野小学校教職員一同	こなかの	書写の時間に硬筆、毛筆を指導し、伝統文化の継承と児童の豊かな感性の育成に取り組んだ。全国学生書道展で、30年連続32回目の優勝を果たした。	一
5	公立	岩手県	中学校	住田町立世田米中学校教職員一同	せたまい	森林・林業の町づくりを推進している地域と連携し、木工作品の実践的な技術の向上を図ることを目的として、昭和61年度から希望者で構成される特設木工部を設立した。以降、地域の森林環境学習を深めながら、全国児童生徒木工工作コンクールでの継続的な全国入賞を果たしている。	四
6	公立	岩手県	高等学校	岩手県立遠野緑峰高等学校教職員一同	とおのりよくほう	廃棄されていた資源を「ホップ和紙」として再生利用できることを実証したことで、ホップ生産の新たな魅力を地域内外に伝えるとともに、産学官民が連携して、ホップ農家の生産意欲の拡大や所得の向上、新たな担い手づくりなど、現状農家の課題解決の視点となった。	六
7	公立	宮城県	小学校	研究推進部（白石市立白石第一小学校）	けんきゅうすいしんぶ （しろいしだいいち）	ICTを取り入れた授業の研究推進および授業実践による成果は、県内教職員の授業力向上に貢献した。	一
8	公立	宮城県	高等学校	「災害科学科」学校設定科目開発チーム （宮城県多賀城高等学校）	「さいがいかがかく」がっこうせつてい いかもくかいほつちむ （たがじょう）	新設学科「災害科学科」における学校設定科目の開発、教科書の作成を通じ、全国に防災教育の参考事例を発信した。	一
9	公立	秋田県	小学校	由利本荘市立由利小学校教職員一同	ゆり	文部科学省指定「英語教育強化地域拠点事業」を受け、県の小学校外国語活動の牽引役として、その研究成果を県内外に広く発信し、評価を受けている。	一
10	公立	茨城県	幼稚園	つくば市立竹園東幼稚園教職員一同	たけぞのひがし	先駆的に保幼小連携に取り組み、教育課程を工夫・改善するなど、継続的・計画的に実践を積み重ね、他園の教諭の指導力向上や本県の幼児教育の向上に寄与している。	一
11	公立	茨城県	中学校	大洗町立南中学校教職員一同	みなみ	平成12年度から「教科教室型システム」の研究を始め、平成16年度から実践研究発表会を継続して行い、若手教員や県内外の教諭の指導力向上に寄与している。	一
12	公立	茨城県	特別支援学校	相談支援部（茨城県立水戸聾学校）	そうだんしえん （みとろう）	本県では初めて早期教育公開研修会を開催し、多くの機関との連携システムを構築した。サテライト教室も本校がいち早く設置し、継続的な教育的支援を行っている。	五
13	公立	東京都	小学校	武蔵野市立第四小学校教職員一同	だいよん	学校図書館を有効活用し、言語能力の向上を図るとともに、校内の言語環境を整え、授業改善に取り組んだ。	一
14	公立	東京都	中学校	東大和市立第五中学校教職員一同	だいが	組織的な生活指導の充実	二
15	公立	新潟県	中学校	研究推進委員会（村上市立荒川中学校）	けんきゅうすいしんいんかい （あらかわ）	「荒川4段階方式」による授業改善の取組、小中連携して取り組む家庭学習の習慣化。	一
16	公立	新潟県	高等学校	新潟県立新発田高等学校教職員一同	しばた	総合的な学習の時間とSSHを両輪とした主体的な探究活動により、課題解決力、コミュニケーション力を高め、国際的に活躍し貢献できる人材を育成している。	四
17	公立	長野県	小学校	上田市立西内小学校教職員一同	にしうち	長年、職員が地域と一体となって取り組んでいる「登り窯」と「金管バンド」活動は、子どもたちの情操を育むと共に地域の活性化に貢献している。	六
18	公立	京都府	高等学校	農業教育に関する専門学科チーム （京都府立桂高等学校）	のうぎょうきょういくにかんするせんもんがつかちむ （かづら）	社会貢献を意識した教育活動をはじめ、地域社会に根ざした実践と都市緑化や環境問題解決等、多岐にわたる研究活動を繰り広げる。	一
19	公立	大阪府	小学校中学校	高槻市立第十中学校区教職員一同	だいじゅう	校区小中学校が一体となって、教育課程や指導方法を協働して編成する連携型小中一貫教育に取り組む、学力向上において大きな成果をあげた。	一
20	公立	大阪府	小学校	東大阪市立森河内小学校教職員一同	もりかわち	日本学校歯科医会の委嘱を受け、「歯と口の健康づくり」に取り組む、市学校園保健研究会等にて発表を行い、学校総体の取組として、他の学校へ広がりを見せている。	三
21	公立	大阪府	中学校	寝屋川市立友呂岐中学校教職員一同	ともろぎ	体育の授業を通じて、生徒の健全な心と身体の育成、高めあう集団づくりという研究に対し、体育・道徳において取組みを進めている。平成24年に全国学校体育研究優良校として表彰。第2回全国中学校リズムダンスふれあいコンクール規定曲部門において優勝。第4回では自由曲部門において優勝。	一
22	公立	大阪府	中学校	東大阪市立花園中学校教職員一同	はなぞの	学力向上に積極的に取り組み、全国学力・学習状況調査の結果が向上した。また、市の研究指定校として平成26年度研究発表を行い、新聞社の取材も受け、学力向上の取組みが掲載された。平成27度も研究発表を行い他府県等からの視察もあった。	一

※実践分野の番号は、「一 学習指導」「二 生徒指導、進路指導」「三 体育、保健、給食指導」「四 特別活動、部活動指導による児童生徒育成」「五 特別支援教育」「六 地域連携・協働の推進」「七 ユネスコ活動、国際交流」「八 学校運営の改善」「九 その他」を示している。

No.	設立主体	都道府県	学校種	チーム名	ふりがな	活動内容	実践分野
23	公立	大阪府	高等学校	大阪府立狭山高等学校教職員一同	さやま	校長のリーダーシップのもと「チームさやま」として教職員が一丸となり授業改善、国際交流、地域交流、部活動、読書活動を組織的に推進し、生徒の伸び率No.1の学校として認識されるまでに教育力を高めた。	一
24	公立	奈良県	高等学校	機械研究部顧問団 (奈良県立奈良朱雀高等学校)	きかいけんきゅうぶこもんだん (ならすざく)	部活動を通じて、生徒に世界大会に参加できる高い技術と自己有用感を身に付けさせ、その活動により地域連合と学校全体の活性化に寄与した。	六
25	公立	和歌山県	中学校	田辺市立新庄中学校教職員一同	しんじょう	各教科と防災教育を結び付けた課題探究学習を行うとともに、地域の保育所や小学校への出前授業の実施、近隣中学校との防災交流会、地元FMラジオ局やJRとの連携避難訓練等を行っている。	六
26	公立	岡山県	小学校	浅口市立鴨方東小学校教職員一同	かもがたひがし	地域との連携により、落ち着いた学習環境の確保と学力向上に教職員が一体となって取り組み、学習指導において特に顕著な成果をあげた。	一
27	公立	岡山県	高等学校	岡山県立真庭高等学校教職員一同	まにわ	東日本大震災を契機とした社会貢献活動を地域と連携した地域おこし等へ発展させ、地域との連携・協働の推進に特に顕著な成果をあげた。	六
28	公立	広島県	小学校	府中市立国府小学校教職員一同	こくふ	「書く力」の育成に力を入れ、「フレームリーディングでつくる国語の授業」の著作を出版するなど、教育実践の手法を広く県内の学校に普及した。	一
29	公立	広島県	中学校	世羅町立世羅西中学校教職員一同	せらにし	生徒が主体的に学校独自の文化「明神の舞(組曲)」を創り、学校行事だけでなく、町主催のイベントでも披露し、地域の財産の一つとなっている。	四
30	公立	徳島県	高等学校	新野高校環境教育推進チーム (徳島県立新野高等学校)	あらたのこうこうかんきょうきょう いくすいしんちーむ (あらたの)	環境教育の取組として、バイオテクノロジー技術を活用した希少植物「イマササユリ」の保護活動を30年以上に渡って継続し、地域と連携して環境保全に取り組んでいる。	六
31	公立	愛媛県	中学校	松山市立桑原中学校教職員一同	くわばら	生徒相互の交流を図る自発的、自治的な活動を展開するとともに、創造的でダイナミックな活動を実践することにより、生徒の主体性やリーダー養成に効果を上げている。	四
32	公立	愛媛県	高等学校	愛媛県立新居浜南高等学校教職員一同	にいほまなみ	別子銅山の近代化産業遺産を教育資源と捉え、銅山の歴史等を学び、地域の人たちとの交流や国内外への情報発信を通して、地域の魅力化に資する活動を継続的に行っている。	六
33	公立	沖縄県	中学校	那覇市立石嶺中学校教職員一同	いしみね	生徒の人権尊重の理念を高め、豊かな心の育成を目的とし、地域との連携を柱に、環境教育や人権教育等に力を注ぎ、段階を踏んだ活動を続けている。	四
34	公立	札幌市	小学校	札幌市立大倉山小学校教職員一同	おおくらやま	全学年で教育課程外に時間を設定し、英語活動を実施し、併せて隔年で教育実践発表会を開催するなど、時代に即した英語教育の在り方を提案・実践している。	一
35	公立	さいたま市	中学校	大久保学園研究推進委員会 (さいたま市立大久保中学校・大久保小学校・神田小学校)	おおくぼがくえんけんきょうすいし んいんかい (おおくぼ・おおくぼ・じんで)	中学校が主体となり、学区にある小学校2校と大久保学園研究推進委員会を組織し、4つのプロジェクトのいずれかに全教員が所属し実践に取り組んでいる。	六
36	公立	京都市	中学校	ライオン検定推進委員会 (京都市立嘉楽中学校)	らいおんけんていすいしんいんかい い(からく)	一人一人の学力や生活状況を把握し、課題を明確にしたうえで、「あしあと検定」(ノートづくりなど)などを実施し、学力と規範意識の向上を図っている。	一
37	公立	大阪市	高等学校	淀商業高等学校商業科「アントレプレナー・チャレンジ」と淀翔モール担当教職員一同	よどしやうぎやうこうとうがっこう しやうぎやうか「あんどれふれ なー・ちゃれんじ」とよどしやう もーるたんとう	新科目「アントレプレナー・チャレンジ」を導入し大規模な販売実習を行う等、本市の商業教育の発展に大きく寄与した。	九
38	公立	熊本市	小学校	熊本市立大江小学校教職員一同	おおえ	道徳・特別活動を中心とした研究を、長年にわたって継続して取り組んでいる。	一

※実践分野の番号は、「一 学習指導」「二 生徒指導、進路指導」「三 体育、保健、給食指導」「四 特別活動、部活動指導による児童生徒育成」「五 特別支援教育」「六 地域連携・協働の推進」「七 ユネスコ活動、国際交流」「八 学校運営の改善」「九 その他」を示している。